

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
この度、下記検査項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白

記

● 受託開始日 2017年11月28日（火）受付分より

● 新規受託項目

検査項目	検体量	容器	保存	所要日数	実施料	検査方法	基準値(単位)
百日咳菌IgA (項目コード:3435) 5E101-0000-023-023	血清 0.2mL	1	冷蔵 (28日)	3~5	80点 (免疫)	ELISA	8.5未満 陰性 判定基準・下記参照
百日咳菌IgM (項目コード:3434) 5E102-0000-023-023							

<判定基準> 百日咳菌IgA、百日咳菌IgM

NTU値	判定
<8.5	陰性 (-)
8.5~11.5	判定保留 (±) ※
>11.5	陽性 (+)

※2~4週間後に採血した血清による再検査をお勧めいたします。

- 百日咳の検査は、培養と百日咳抗体IgGに加え、2016年11月より遺伝子検査が保険適用となっています。百日咳抗体IgAとIgMが加わることで、早期診断への検査体制がさらに充実することとなりました。
- 百日咳抗体IgAは、百日咳毒素(PT)および繊維状赤血球凝集素(FHA)の総IgA抗体価を測定し、百日咳抗体IgMは、百日咳菌に対するIgM抗体価を測定いたします。
- IgA抗体は病日約21日、IgM抗体は病日約15日をピークに発現し、IgA抗体はIgM抗体よりも持続して検出されることが確認されています。
- IgAおよびIgM抗体はワクチンの影響を受けないため、これまで急性期と回復期のペア血清を必要とした抗体検査において、単一血清での診断率向上が期待されています。